

人口減少対策等調査特別委員会 行政視察調査報告書

- 1 視察日 2019年7月11日（木）～12日（金）
- 2 視察先調査事項
- 鳥取県八頭郡八頭町
 - ・八頭イノベーションプロジェクトについて
 - 鳥取県八頭郡智頭町
 - ・移住定住推進・地域活性化の取り組みについて
 - 鳥取県倉吉市
 - ・移住定住推進施策について
- 3 視察者
- | | |
|-------|---------------|
| 委員 長 | 奥村 忠俊 |
| 副委員 長 | 上田 倫久 |
| 委員 | 足田 仁司 |
| 委員 | 伊藤 仁 |
| 委員 | 嶋崎 宏之 |
| 委員 | 清水 寛 |
| 委員 | 田中 藤一郎 |
| 委員 | 椿野 仁司 |
| 当 局 | 塚本 繁樹（政策調整部長） |
| 議会事務局 | 小林 昌弘 |



隼 lab. 全景（八頭町）



隼 lab. 施設内を視察する（八頭町）



振興協議会によるキクラゲ栽培（智頭町）



移住定住施策の説明を受ける（倉吉市）

日 時	2019年7月11日(木) 午前10時00分～午後0時00分
視 察 先	鳥取県八頭郡八頭町
調査項目	八頭イノベーションプロジェクトについて
調査内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 プロジェクトの概要について 2 プロジェクトを起ち上げることとなったきっかけ 3 プロジェクトにかかる(かかった)経費について(予算ベースで) 4 隼ラボを利用されている企業(団体)の業種(できれば企業(団体)名)及び従業員数 5 プロジェクトを実施することにより、町の活性化や住民の意識等にどのような変化が見られたか 6 プロジェクトの成果と今後の課題について
所 感	<p>八頭町は鳥取県東部にある典型的な中山間地域である。その中で、人口減少対策の一つとしてイノベーションプロジェクトを立ち上げている。人口減少対策は地域ごとに考え研究検討してもらおう。そこに暮らす人々が何を思い望んでいるのか。「あきらめ」から「希望」への発想転換を図る。誰かに尋ねるだけでなく、長年暮らしてきた住民が何を求め、何が不足しているか。何をすれば人が集まるのかを考えることから出発しているとの説明があった。</p> <p>様々な取り組みがある中で、地域とイノベーター(起業家)たちによる、八頭イノベーションプロジェクト/隼 lab. (はやぶさラボ)の取り組みについて視察した。</p> <p>隼 lab. は、閉校となった隼小学校を活用し、IT関連企業等のサテライトオフィスと地域コミュニティ活動拠点施設を兼ね備えた融合施設として平成29年度にオープンした。平成27年度からSBヒューマンキャピタル(株)(SBHC)と連携し事業を始め、平成29年度には運営会社である(株)シーセブンハヤブサも設立された。参入企業と連携しながら地域課題の解決に繋がる新たな取り組みを推進している。現在、14の企業、団体が入居。</p> <p>人口減少の進行を緩和するため「働く場所」を確保する事。大型工場等の誘致は困難であるが、IT関係等場所にとらわれることなく就業可能な場所の提供を目指す。</p> <p><廃校の活用></p> <p>隼 lab. では、地元や鳥取市などから若者が集まり、起業している姿を実際に拝見し、地方から全国へ発信して行こうとする積極的な取り組みが見て取れた。企業だけでなく、レストラン、喫茶なども開設されており、地域の社交の場にもなっている。</p> <p>地方でもこういった新しい発想のもとにグループが活躍する姿は、豊岡市においても大いに参考になると考えられる。</p> <p>廃校になった比較的新しい小学校を全部利用し、企業だけでなく地域住民も利用できる施設とすることで、住民との交流も生まれ、地域の荒廃より発展が期待される。</p>

日 時	2019年7月11日(木) 午後2時30分～午後5時00分
視 察 先	鳥取県八頭郡智頭町
調査項目	移住定住推進・地域活性化の取り組みについて
調査内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 移住者及び定住者向けの支援施策の概要について 2 移住者及び定住者向けの支援施策で、特に効果があった施策 3 移住者・定住者数の過去5年間の実績 4 地域活性化の具体的な取り組み内容、経費、協力団体等 5 森のようちえん「まるたんぼう」の概要について 6 移住定住推進施策の成果と今後の課題について
所 感	<p>智頭町は「みどりの風が吹く“疎開”のまち智頭」をキャッチフレーズにまちづくりを進めている。その中で低迷する林業と農業にあえて光をあて、「林業・農業を軸として町民が主役の魅力あふれる元気なまち」をめざし、住民と行政が一緒に汗を流す「提案型」を基本に新しいまちづくりを進めていた。</p> <p>「智頭町疎開保険」は、地震等の災害が発生した場合の安全・安心が確保できる生活場所を提供しようとするもの。</p> <p>「日本1/0むらおこし運動」は、平成9年度に制度化。閉鎖的・保守的・依存的な村社会の変革を図り、町の活性化は集落の活性化からという視点に立ち、「これからもその集落に住もう、どうせ住むなら豊かで楽しい村がいい」を理念としている。自分に何ができるか、何に汗が流せるか、住民一人ひとりが無(ゼロ)から有(イチ)への一步を踏み出そうという運動。</p> <p>この運動補助金を活用し、地域活動の一環として、廃校跡地を利用しキクラゲを栽培する加工場を視察した。</p> <p>このほかに特徴的な取り組みとして「智頭町100人委員会」がある。平成20年につくられたこの制度の目的は、町の自立と持続をめざし、諸課題に関する住民の意見を町政に反映させ、町の発展と住民福祉の向上に資するとなっている。その中で生まれた事業の一つに、「森のようちえん『まるたんぼう』」がある。</p> <p>「森のようちえん」とは、デンマークで生まれた野外保育スタイル。春夏秋冬、毎日森に通い一日の大半を過ごす。徹底した見守る保育(自主性を大切にする)。このようちえんで育った子は体力が付き、病気に強く、自立が進み、コミュニケーション能力などが優れるという。「まるたんぼう」の特徴は、園舎がない、日課がない、玩具がない、育ちを信じて待つという。</p> <p>そのほか、UJIターン住宅支援、空き家家財道具等補助金、住宅購入・改修事業等さまざまな移住、定住に関する施策を展開していた。</p> <p>移住希望者は多いが、提供できる空き家がない。空き家があっても、提供して頂けない等の問題も抱えているようであった。(空き家多いが人住めない・・・どこも同じ)</p> <p>人口減少が続く中ではあるが、町は合併せず智頭町独自の取り組みを続け、過疎を逆手に取りながら人口の流出を抑え、他からの移住促進を図っていた。</p>

日 時	2019年7月12日(金) 午前9時45分～午後0時00分
視 察 先	鳥取県倉吉市
調査項目	移住定住推進施策について
調査内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 移住者及び定住者向けの支援施策の概要について 2 どの施策が効果があったと考えられるか 3 移住者・定住者数の過去5年間の実績 4 移住定住推進施策に係る経費(予算ベース) 5 どこの部署(組織)がリーダーシップをとっておられるのか 6 移住定住推進施策の成果と今後の課題について
所 感	<p>倉吉市は鳥取4市の一つで、人口は約4万7千人の城下町である。市庁舎は鉄筋コンクリート造りのどっしりとした建物。説明を受けると世界的な建築家の丹下健三氏の初期の作品で、国登録有形文化財に指定されている。耐震補強が施されているが、これは平成28年の鳥取県中部地震による。</p> <p>市の移住定住促進にかかる主な取り組みとして、「移住定住促進空き家取得事業支援助成金」、「定住希望受け入れ支援事業交付金」、「移住定住者住宅取得支援補助金」、「移住定住促進賃貸物件事業補助金(家賃補助)」等がある。</p> <p>また、県事業ではあるが、「とっとり暮らしアドバイザー」という事業がある。移住者を「とっとり暮らしアドバイザー」として委嘱し、自身の経験を活かし移住定住サポートセンター及び市町と連携して、定住に繋がるよう事前の相談から移住後のフォローまで対応するなど、きめ細やかに相談にのっている。</p> <p><移住者の活躍例></p> <p>大阪から倉吉に移住した若者が、市の地域おこし協力隊に任命され、倉吉で様々な取り組みを行っていた。城下町の一角、観光スポットである白壁土蔵群の中に売店と事務所を兼ねた店舗を構え、倉吉の方言を活かし、地域の人達とともに情報誌の発行、町並み保存などまちを盛り上げていた。</p> <p>また、東京から移住してきた夫婦は空き家住宅を改装し、喫茶店と地ビールの販売を手掛けるなど、新しいまちづくりの一端を見ることもできた。</p> <p>今回の視察は、日本一人口の少ない隣県である鳥取を訪問した。一部を除き全国で人口減が進むなか、それぞれの環境、地域性、伝統文化など継承されてきたものを受け継ぎ、高スピードで失われていく故郷を守ろうとすることは極めて困難であると言わざるを得ない。</p> <p>しかし、そこに暮らす人々が故郷を愛し、伝統文化を継承していく「その気」になれば、細くデコボコな道であっても必ず繋がっていくものであると実感した。人口減少は巨人のように見えるが、行政は市民とともに知恵を出し合い挑戦していく価値はある。議会も一体となって困難に立ち向かっていく責任を学んだ視察であった。</p>